

令和7年度 社協会費実績報告

7月に実施した、令和7年度社協会費は、町内会長や福祉員等の協力を得て、一般会費800円、賛助会費2,000円をご協力いただきております。

今年度は、町民の皆さんのご協力により総額で2,297,200円となりました。

この会費を貴重な財源として「町民みんなが生き生きと暮らせる福祉のまちづくり」に向け、町民が助け合い・支え合って生活できる明るい社会の実現に全力で取り組んでおります。

ご協力いただきました町民、町内会や個人の方々には、厚くお礼申し上げます。

今後とも「社協」をよろしく願います。



令和7年度 社協会費実績内訳

地区名	実績額(円)			地区名	会員数(件)		
	一般	賛助	合計		一般	賛助	合計
五城目	920,800	52,400	973,200	五城目	1,139	27	1,166
馬 川	176,800	19,200	196,000	馬 川	220	10	230
馬場目	208,800	26,400	235,200	馬場目	259	10	269
富津内	193,600	17,600	211,200	富津内	239	10	249
内 川	128,800	34,000	162,800	内 川	161	9	170
大 川	264,800	21,200	286,000	大 川	325	13	338
森 山	140,800	16,000	156,800	森 山	176	7	183
アパート・マンション・他	4,000	12,000	16,000	アパート・マンション・他	5	6	11
企 業	0	60,000	60,000	企 業	0	15	15
合 計	2,038,400	258,800	2,297,200	合 計	2,524	107	2,631

※令和7年9月5日現在

賛助会費【協力企業の紹介】

- 湖東自工株式会社
- 株式会社ケア・ファースト
シヨートステイかがやき
- 有限会社ハッピーライフ
ハッピーライフあんど
- 社会福祉法人五城目やまゆり会
- 【六千円】
- 株式会社セコー
- 【四千円】
- 湖東印刷所
- 【二千円】
- 株式会社秋田銀行五城目支店
- 秋田信用金庫五城目支店
- あきた湖東農業協同組合
- 湖東商事有限公司
- 合同会社山崎モータース
- 株式会社あつたか五城目
- 湯の越の里
- 合同会社春風
- ささき内科クリニック
- 秋田日産自動車株式会社南秋店
- 株式会社秋田東北ダイケン
- 合資会社渡辺五松堂

※(順不同・敬称略)



令和7年度 赤十字会費実績内訳

地区名	会員数(件)	実績額(円)
五城目地区	1,213	940,700
馬 川地区	217	173,600
馬場目地区	267	213,600
富津内地区	249	199,200
内 川地区	178	142,400
大 川地区	334	267,200
森 山地区	182	145,600
アパート・マンション等	8	5,544
合 計	2,648	2,087,844

※令和7年9月5日現在

令和7年度 赤十字会費実績報告

5月に実施した、令和7年度赤十字会費の募集は、町民の皆さんのご協力により総額で2,087,844円となりました。

この会費は、大規模災害発生時の救護活動や被災された方への救援物資の配布などに全国で広く活用されます。

また、地域での救護活動のための機材として、災害救援車両・発電機・AEDなどの配備や「命と健康を守るための各種講習会」を開催するための事業費などに役立てられています。

令和7年度ボランティア養成研修会

8月6日(水)、五城館を会場に、ボランティアに関する基本的な知識や心構えなどを学び、ボランティア意識の向上と活動の機会を広げることを目的に、高校生や町民、社協職員を含め15名が参加し、令和7年度ボランティア養成研修会を開催しました。

第一部に、「ボランティアの基本」について、当会職員が「ボランティアとは何か?」「ボランティアと奉仕活動の違い」、ボランティア活動をするにあたり「安全第一」、「無理をしない」ことなど基本的な内容を説明しました。

また、「あなたにあったボランティアは、きつと出会えるはず」など、ボランティア活動に参加しましょうと呼びかけました。続いて、第二部「実践発表」



ボランティアグループおさがり広場
代表 小林久美子氏



研修会の様子

として、「ボランティア活動と地域貢献」を演題に、ボランティアグループおさがり広場代表小林久美子氏が、これまでの自身の歩みを振り返り、「おさがり広場の始まり、おさがり広場の現在、おさがり広場の課題」に分けて説明しました。

小林代表は、おさがり広場の始まりのきっかけが、「制服など、孫の学校に関わる服を捨てるのがもったいない。誰かに使ってもらいたい」から始まり、この活動を通じて、五城目高校の生徒から「ありがとうございしました」と笑顔で感謝されたことなどを話されました。

誰かの為に役立つことができることが励みとなり、引き続きボランティア活動で、町に貢献出来たらと思うので活動しています。

一般社団法人 ONE TOHOKUと 「災害等のボランティア確保の 連携・協力に関する協定」を締結

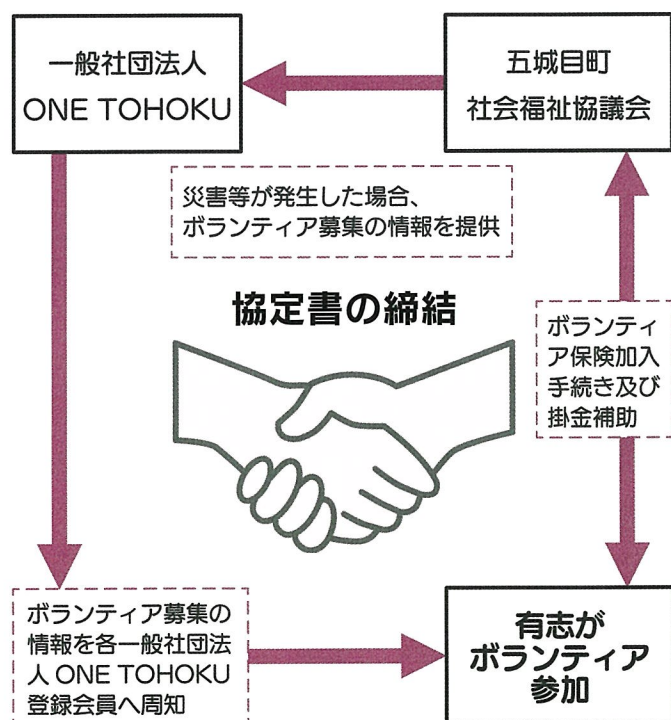
7月1日、本会と一般社団法人ONE TOHOKU(代表理事 藤田廉太郎)とで、災害等のボランティア確保の連携・協力に関する協定を締結しました。

ONE TOHOKUは、消防士と各業界のプロフェッショナルで構成されたタスクフォースチームで、「全ては一人でも多くの人命を救出するために!」をスローガンに掲げ、職務を超えて日々訓練を重ね、地震、風水害対応に日頃から備えている。また、災害が発生した時には、迅速な災害救援活動ができるよう心がけ、日々の活動で培った知識、技術、経験を被災地での活動に生かして、一人でも多くの人命を救うために活動しています。

調印式には、ONE

TOHOKU理事兼秋田支部長中道聖也氏が出席され、「令和5年7月の大雨災害に遭った時に、消防の仲間達が、県外問

協定内容のフロー図



調印式の様子
ONE TOHOKU 理事兼秋田支部長 中道聖也氏(右)